

『建設物価 建設資材物価指数<sup>®</sup>』

## 2023年7月分の指数データを公表

一般財団法人建設物価調査会（本部：東京都中央区、理事長：北橋建治）では、同会ホームページにて毎月公表している『建設物価 建設資材物価指数』について、2023年7月分の指数データを2023年8月1日13:00より公表いたします。

○ 建設資材物価指数：[https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu\\_shizai/](https://www.kensetu-bukka.or.jp/business/so-ken/shisu/shisu_shizai/)

建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用される建設資材の価格に限定した物価指数です。

## ■2023年7月分の指数動向（東京都区部）■

▶ **建設総合部門**の指数は131.7と前月比で0.1%増（2カ月連続の増加）、前年同月比で5.3%増となった。

【寄与度】 **プラス寄与**：その他の製造工業製品[+0.05]、石油製品・舗装材料[+0.04]、窯業・土石製品[+0.02]など5大分類  
**マイナス寄与**：紙・木製品[-0.06]、鉄鋼[-0.02]の2大分類

▶ **建築部門**の指数は132.4と前月比で0.0%減（2カ月ぶりの減少）、前年同月比で3.2%増となった。

【寄与度】 **プラス寄与**：窯業・土石製品[+0.03]、非鉄金属[+0.02]、石油製品・舗装材料[+0.01]など5大分類  
**マイナス寄与**：紙・木製品[-0.06]、鉄鋼[-0.03]の2大分類

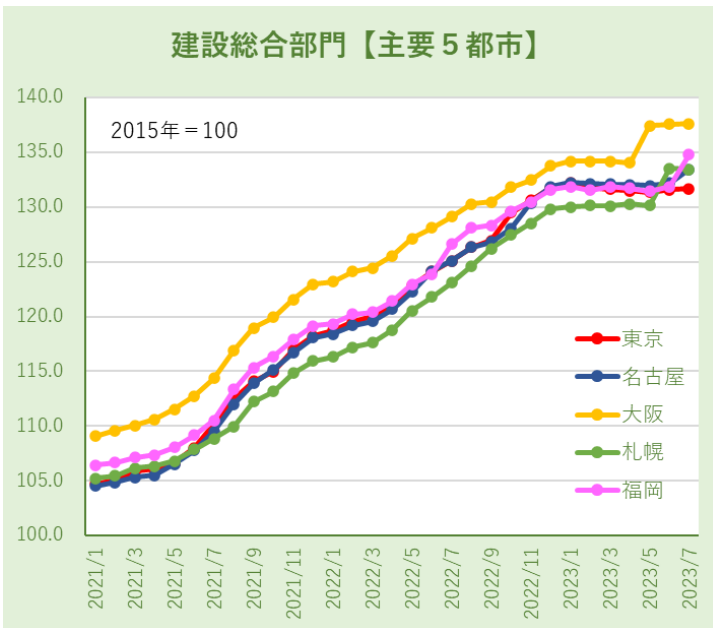
▶ **建築補修部門**の指数は127.5と前月比で0.0%増（2カ月連続の増加）、前年同月比で7.2%増となった。

【寄与度】 **プラス寄与**：石油製品・舗装材料[+0.03]、その他の製造工業製品[+0.02]、非鉄金属[+0.02]など6大分類  
**マイナス寄与**：紙・木製品[-0.03]、鉄鋼[-0.01]の2大分類

▶ **土木部門**の指数は132.1と前月比で0.2%増（38カ月連続の増加）、前年同月比で8.0%増となった。

【寄与度】 **プラス寄与**：その他の製造工業製品[+0.13]、石油製品・舗装材料[+0.11]、非鉄金属[+0.01]など5大分類  
**マイナス寄与**：紙・木製品[-0.02]の1大分類

## ■指数の動向■



※上記以外の都市および指数系列についてはHPをご覧ください。

## ■寄与度に影響する資材の市況■（7月期）

プラス寄与

## 【石油製品・舗装材料】燃料油・ストレートアスファルト

原油相場の上昇と円安によるコスト上昇を背景に、元売り各社が卸売価格を引き上げ、市場価格は上伸。先行き、不安定な原油相場が続くと見られ、燃料油は強基調。

## 【窯業・土石製品】グラスウール

原材料のガラス価格上伸や製造コストの増加を転嫁するため、断熱材メーカーは値上げを打ち出し、それが市中に浸透したことにより上伸。先行き、横ばい公算大。

マイナス寄与

## 【紙・木製品】コンクリート型枠用合板

コンクリート用型枠合板は、輸入量ならびに市中在庫は減少傾向ながらも、需要低迷により販売価格を引き下げた。現況が底値との見方があり、先行き、横ばい。

## 【鉄鋼】異形棒鋼

新規需要が減少し、流通商社は販売数量確保を優先したため価格競争が発生。安値取引が散見され、市中価格は下落。需要回復には時間がかかる見込み。先行き、弱基調。

## 【本件に関するお問合せ先】

一般財団法人建設物価調査会 総合研究所 経済研究課 担当：若澤・伊沢  
〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町11番8号 フジスタービル日本橋  
Tel：03-3663-7235 E-mail：[econ@kensetu-bukka.or.jp](mailto:econ@kensetu-bukka.or.jp)

※「建設物価 建設資材物価指数」は建設物価調査会の登録商標です。

建設物価調査会

